

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成19年度技術情報第3号(イチゴの炭疽病)について(送付)

イチゴの炭疽病について情報をとりとめましたので送付します。

多くの親株床で炭疽病菌の感染が確認されています。子苗への感染が懸念されますので、防除対策を徹底してください。

- 1 農作物名 イチゴ(親株から子苗)
- 2 病害虫名 炭疽病
- 3 予報内容

- (1) 発生地域 県本土
- (2) 発生量 多

4 情報の根拠

- (1) 4月中旬から5月上旬に親株を調査した結果、多くのほ場で炭疽病菌の感染が確認され、地域振興局の調査でも感染が確認されている(下表)。
- (2) 炭疽病菌は高温多湿条件で病斑上に多量の胞子を形成し、雨水等で飛散する。向こう1か月の天候は、後半から平年と同様に曇りや雨の日が多く、気温は平年並または高いと予報されていることから、親株から子苗への伝染が懸念される。

表 親株床での炭疽病菌確認状況(4月中旬~5月上旬調査)

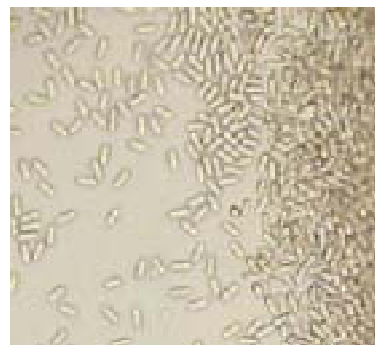
地域名	感染確認状況	左記調査場所
日置	3/5(10~20%)	日置市伊集院町中川
川薩	2/5(5~25%)	さつま町湯田・平川
曾於	0/4	志布志市有明町野神 曾於市財部町, 志布志市松山町・有明町

注) 感染確認ほ場数/調査ほ場数, ()は感染確認ほ場の感染株率(1ほ場当たり20株を調査)。

地域振興局の調査では(11~3月に実施), 感染を確認している。



親株の葉柄上に形成された胞子粘塊
(表面殺菌後, 28℃で22日間保湿)



胞子粘塊上の分生子

5 防除上注意すべき事項

- (1) 育苗ほ場周辺や育苗ベンチ下の除草を徹底する。
- (2) 雨よけ, 排水対策, 防風対策を徹底する。
- (3) 地床育苗では, ビニールマルチ等で降雨時等の土のはね返り防止を行う。
- (4) 生育不良の親株から採苗は行わず, 早急に除去する。なお, 除去した親株等は肥料袋等に入れて密閉し適切に処分する。
- (5) 降雨中の摘葉作業は行わない。
- (6) 子苗への感染防止の薬剤散布を10~14日間隔で行う。散布の際は株元を中心に十分量を散布(300g/10a)する。また, 発生が認められる場合は散布間隔を短縮する。